

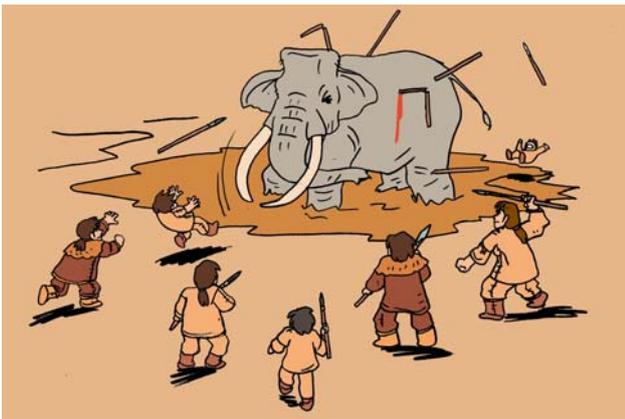
IV-2

ゾウが捕れたらどれくらいの

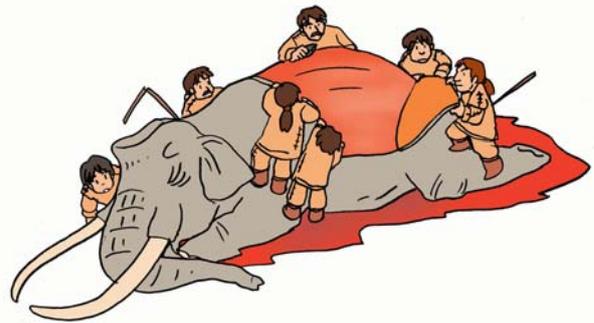
しよくりよう

食料になるのだろうか？

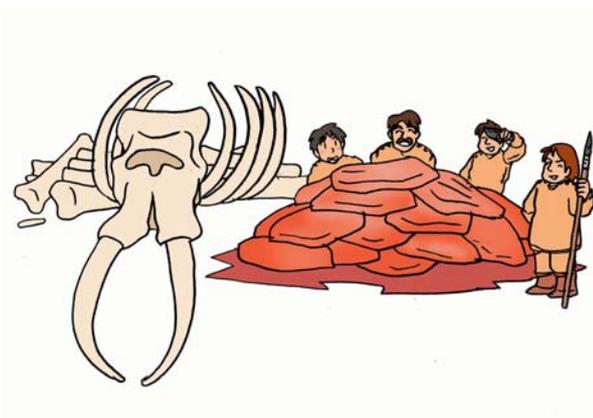
岩宿（旧石器）時代（旧石器）時代には、現在ではみることのできないナウマンゾウやマンモス（北海道のみ）、オオツノシカといった大形の絶滅動物が住んでいました。その当時の人々は、狩りの生活を営んでいたと考えられますが、それらの動物も狩りしていたことでしょう。もしナウマンゾウを1頭しとめたとしたらどうでしょうか。現在のアジアゾウより少し小さいそうですが、大きなものでは4トンほどの重さになると考えられます。そのうち、骨や皮、内臓などの食べられない部分が40%とすると、残りは60%で、2,400kgの肉が一度に手に入ることになります。一人1日1.5kgの肉を食べるとすると、30日で45kg、50人で食べたとすると2,250kgとなります。ナウマンゾウが1頭捕れれば、50人の1ヵ月分の食料が一度に手に入るようになります。



ゾウを狩りする



ゾウの皮を剥ぐ



解体して肉と骨などに分ける



肉を食べる

●ゾウが狩りで捕れたら

(イラスト：さかいひろこ氏)